



Pick Up News 今年も毎月一回の学部通信を発刊することができました。協力してくれる学生あつての通信です。ありがとうございます。何気なしに読んでくれる学生が多いことがとても嬉しく、制作する私の喜びでもあります。来年もどうぞよろしくお願ひします。さて、皆さんにとってどのような一年だったでしょうか。建築学科としては、50年に渡り過ぎて来た「5号館」をから引越しました。目の前で建物が解体されている様子を見ることが出来る貴重な機会だ、と前向きに考えるようにしています。不自由を掛けますが、引き続きご協力をお願いします。1年生は高校から進学し「ここ」で学ぶこととなりました。自分なりの生活と勉強のリズムを見つけ、また目標を定めて歩んだ1年間だったことと思います。2年生はコース選択を控えています。自分の得意なこと、好きなことを見つめながら選択を。3年生の皆さんは研究室配属を終え、今までとは異なる大学生活の学びの楽しさを味わっていることでしょうか。4年生は大学生活残り3ヵ月。人生でこれほど貴重な時間はありませんと(と後で気付きます)。卒業研修に精一杯取り組みながら、残りの大学生活も大いに楽しんで下さい。大学院生も自分の夢・目標の実現に向けてコツコツと着実に！と、いうことで皆さん佳いお年を！



東北工大建築学科建築学
科は3日、仙台市のTKPガ
ラデンティ仙台で「東北工
大建設関連企業と建築学科の交
流会2024」を開いた。写真。

東北工大建築学科は3日、仙台市のTKPガラデンティ仙台で「東北工大建設関連企業と建築学科の交流会2024」を開いた。写真。

東北工大建築学科は3日、仙台市のTKPガラデンティ仙台で「東北工大建設関連企業と建築学科の交流会2024」を開いた。写真。

東北工大建築学科は3日、仙台市のTKPガラデンティ仙台で「東北工大建設関連企業と建築学科の交流会2024」を開いた。写真。

東北工大建築学科は3日、仙台市のTKPガラデンティ仙台で「東北工大建設関連企業と建築学科の交流会2024」を開いた。写真。

東北工大建築学科は3日、仙台市のTKPガラデンティ仙台で「東北工大建設関連企業と建築学科の交流会2024」を開いた。写真。

東北工大建築学科は3日、仙台市のTKPガラデンティ仙台で「東北工大建設関連企業と建築学科の交流会2024」を開いた。写真。

東北工大建築学科は3日、仙台市のTKPガラデンティ仙台で「東北工大建設関連企業と建築学科の交流会2024」を開いた。写真。

学生と119法人・団体が交流

東北工大建築学科

就職活動を控えた同学科3年生あり、皆さんの期待の表れでと大学院博士課程前期1年生合もあつた。交流を踏まえ、今後の進路検討の参考にしてほしい」と呼び掛けた。

交流会は、企業の担当者らが資材メーカー、行政機関など119法人・団体が一堂に会し、建築学を深めた。

建築学部長を務める石井敏副学長は「建築学科では毎年1500人程度の入学生を充実したカリキュラムで教育し、自信を持って社会に送り出している。集まっていたいただいた皆さんは、学生に社会での学びや仕事の内容を伝えてほしい」と話した。

学生には「これほど多くの参加者が皆さんのために集まってくれたのは、本学の卒業生が社会で活躍しているおかげで

東北を支える建設関連企業と建築学科の交流会

就職活動を控えた同学科3年生あり、皆さんの期待の表れでと大学院博士課程前期1年生合もあつた。交流を踏まえ、今後の進路検討の参考にしてほしい」と呼び掛けた。

交流会は、企業の担当者らが資材メーカー、行政機関など119法人・団体が一堂に会し、建築学を深めた。

建築学部長を務める石井敏副学長は「建築学科では毎年1500人程度の入学生を充実したカリキュラムで教育し、自信を持って社会に送り出している。集まっていたいただいた皆さんは、学生に社会での学びや仕事の内容を伝えてほしい」と話した。

学生には「これほど多くの参加者が皆さんのために集まってくれたのは、本学の卒業生が社会で活躍しているおかげで

先輩の声を聞き進路を考える

企業と学部の交流会

進路を考える機会として、先輩の声を熱心に耳を傾けて、北支える建設関連企業と建築学科の交流会を仙台市のTKPガラデンティ仙台で開いた。建設関連企業119社が一堂に会し、学生に向けて仕事の内容や在籍するOB・OGの活躍を紹介し、学生らは今後の進路を要する仕事を技術者兼任する事も可能だ。この場合も移動時間やICT活用などの要件を満たさなくてはならない。兼任に当たって作成が求められる人員配置計画書については、マニコアとは別に今後、参考書式を作成する方針だ。

「就職の話題にとどまらず、大学での学び、仕事のことも大ききまな相談をしてほしい、皆さんのために多くの企業が集まってきたこの貴重な機会が、進路検討につながることを期待している」とあいさつした。

会では2部構成で開き、第一部は参加企業が各自をPR、会社の特色や仕事内容、福利厚生、在籍している卒業生の活躍などを紹介する。第二部では、交流会の開催を先導し、今後の進路に増加するはずだ。一層当も安定している、賞与も充実している、などアドバタイズしている。



Please follow us!
在学生が学生目線で情報発信してくれています。現在フォロワーは750,1000を目指しています。よろしくお願ひします。

二〇二四年も学部通信制作に協力して下さった学生の皆さんありがとうございます。二〇二五年もどうぞよろしくお願ひします。佳い年になりますようにー!!

建築学科50周年(2016年)を機にスタートした企業・卒業生と3年生との交流会。一学科の学生のために119社の企業・卒業生を含む200名を超える皆様に参加して下さいました。ご参加下さった企業・卒業生の皆様、どうもありがとうございました。

Pick Up Lab. 福屋研究室は、デザインと建築史を学ぶ研究室です。今年は福屋がロサンゼルスで研修中のため、院生・学部生と卒業生が和気あいあい自由に研究室で活動しています。大ニユースは、修士修了の高橋雅人さんがNOT A HOTEL国際コンペで630作から勝ち抜き、最年少で優秀賞を受賞。学生も、タカカツ学生住宅設計アイデアコンペで5チーム15人入賞、日本建築学会設計競技で3チーム13人支部入選を果たしました。修計卒計中間発表も修士修了の福田俊さんの司会で盛り上がりました。来年も歴史を学びデザインの歴史を作っていきます。Happy Holidays!。



12月修計卒計中間 建築家向山裕二・北澤伸浩・高橋雅人・福田俊と発表者



11月タカカツ学生住宅設計コンペ審査会



3年 佐藤りこさん
仙台南高校 出身

Pick Up Student 入学からあつという間に3年が過ぎようとしています。これまでを振り返っても、学祭、MSKWGに所属し、イベントやボランティアにも参加するなど、充実した日々を過ごしてきました。特に3年生は、本当に青春そのものだったなとしみじみ思います。ただ、そこが全盛期だと思わず、超えられるくらい活動的な4年生を過ごしたいです。3年生になった頃から、4年生でやること、やりたいことを少しずつメモに書き留めるようになりました。些細なことから夢のような目標まで沢山あります。残りの限られた時間と、自分の将来についてより熟考することが増える中で、どれだけのことを現実化できるか試してみたいです。そして自分の経験値を更に高めていきたいと思ひます。



2年 田中 稜輔さん
山形工業高校 出身

Pick Up Student 大学に入学してから2年が経とうとしており、そろそろ進路を明確なものにしなければと焦り始めています。そのため、これからの長期休みを有効に使ってインターンシップなど積極的に参加したいと思ひます。現在取り組んでいて大変なことは、設計課題です。やればやる程改善点が見つかり毎回時間に追われています。しかし、設計条件を与えられてからは、自分のコンセプトを持ち一から考え、それが形になっていく過程はとても楽しいです。さらに、先生方のフィードバックによって少しずつではありますが自分が成長していると実感しています。将来的には、地元山形に貢献したいと考えているため、これからも建築の知識を深めていきたいです。